



# 校長だより

呉市立市阿賀小学校  
安宗 誠



## 「とんてことん」は阿賀のお宝の一つ

7月5日、瀬戸敏治氏（西町自治会長）が来校され、「管弦祭」についての熱い思いを校長室で語っていただきました。私も阿賀で生まれ育ちましたので、「日本三大船神事」の一つとされる巖島神社の「管弦祭」が阿賀と深く関わっていることを、ある意味、誇りのようにも感じているところです。しかし、私が阿賀中の生徒だった四十数年前はというと・・・。「とんてことん」があるから今日は学校を早退するという延崎の友達のその話に、神田神社の祭りでさえもそんなことにはならないのに、さぞ、すごい祭りなのだろうとは思ったものでしたが・・・。その詳細については、敢えて知ろうともせず・・・。はずかしながら、そんな中学生時代でした。

しかし、その後、「管弦祭」について勉強する機会があり、平安時代から続く由緒あるこの行事と阿賀との運命的なご縁を感じずにはいられないと思うようになりました。神事の最中、海上で嵐に見舞われ身動きのとれなくなった御座船を、阿賀の漁船2隻と江波の漕伝馬船1隻が偶然出くわし救ったのが元になって、その後、双方の船が御座船を巖島神社から対岸の地御前神社に曳く形で海上で行われるようになったこと・・・。「とんてことん」というのは、「管弦祭」の前々日の夜、巖島神社の向かう阿賀の2隻のお漕船を見送るために大谷川河口で行われる祭りのこと・・・。

つい最近の読売新聞（7月4日付）にも、「管弦祭」のことが大きく特集されていて、阿賀のお漕船も大きく載っていました。校長室にも、阿賀のお漕船の絵がずっと飾ってあります。

このような阿賀のお宝を阿賀っ子がしっかり知って、ますます阿賀の町を誇りに思いながら育ててほしいと思います。



校長室に飾ってある阿賀のお漕船の絵

### 防災週間にあたり、防災食のいろいろ、防災食のレシピを特集しました（ランチルーム前）



荒谷栄養教諭による